

科目名: 産業・組織心理学		科目コード	EB39	
科目主査: 小久保 正昭		担当講師: 小久保 正昭、増野 洋子、 福住 昌子	単位	4
授業の目的と概要		グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>目まぐるしい社会変化やさまざまな働き方の改革に伴い、社会人を取り巻く労働環境や雇用形態は激動しています。その結果、日々の現場においては、従来の画一的な対応ではなく、その場に適応した臨機応変な対応が求められています。また、実践経験に基づく対応だけでなく、理論的基礎を修得する必要があります。本科目では、基礎的学習として組織行動や人事心理学を学び、また、それらを実践に生かしていくために作業心理学や消費者行動についても学習します。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読していることを前提として授業を進めます。よく理解できていないところがあったらマーキングしておきましょう。			
テキスト	『社会人のための産業・組織心理学入門』高橋 浩 他, 産業能率大学出版部, 2013年			
この科目の 到達目標	<p>①産業や組織に関する基本的概念を理解し、その理論を用いて現場における問題を適切に説明することができる。</p> <p>②モチベーションやリーダーシップなど職場における課題を産業や組織に関する枠組みで考察でき、解決の方向性を見出すことができる。</p>			
成績評価 の方法	評価対象は課題と最終試験(100満点)です。なお、課題では正解がない問題を出題しますので、テキストの書き写しではなく自分の考えを述べてください。			
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持った分野について文献を読んで、さらに理解を深めてください。 ・仕事の現場で体験した出来事が、どの概念や理論で説明できるかについて考察しましょう。 ・各自の興味や関心に応じて他の科目を履修し、発展的に学習してください。 			
事後学習の 参考文献	<p>『産業心理臨床入門』CPI研究会 他(編), ナカニシヤ出版, 2006年</p> <p>『産業・組織カウンセリング実践の手引き』三浦 由美子 他, 遠見書房, 2018年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具				